

4. 全体成果概要

海域断層に関する既往調査結果の収集及び海域断層データベースの構築では、今年度は、昨年度に引き続き、日本海の反射法探査データ、速度構造データ、well データを収集し、すべてのデータ QC を実施するとともに、日本海の 3 次元速度構造を構築した。

また、海域における既往探査データ等の解析及び統一的断層解釈では、今年度まで日本海の反射法探査データの再処理を実施し、日本海の断層解釈を終了した。そして、断層の連続性を地質構造と地形から確認し、断層リストを作成するとともに、サブテーマ 3 の実施者である国立研究開発法人防災科学技術研究所へ提供した。

海域における断層モデルの構築では、サブテーマ 2 で解釈を終えた日本海の断層分布から主断層の断層パラメータの確からしさ等の質の違いに応じたモデル化を考慮した。また、構築した断層モデルの妥当性を、津波や地震動のシミュレーションを用いて検証するための手法を検討した。